

# 七面山敬慎院勤行式次第

於 本殿

## 初、入 堂

僧侶がお堂に入ってきてきます

## 次、道場偈

七面大明神をお迎えする準備として法歌を詠み堂内を清めます

## 次、開経偈

良き人との出会い。良き教えに出会うことは難しいことでもあります。お釈迦さまが説かれた『法華経』に出会うことができた慶びを述べています

## 次、読 経

お釈迦さまが私どもに慈しみの御心と行いをもつて救済を施して下さっていることを説かれております

## 次、祖 訓 如説修行鈔

日蓮聖人のお言葉

天下万民諸乗一仏乗となつて妙法みょうぼう

ひとりひと 繁昌はんじょう せん時とき、万民一同ばんみん いちどう に

南無妙法蓮華経なむみやうほうれんげきょう と唱とな えたてまつらば

吹ふ く風枝かぜえだ をならさず雨あめ 壊つちく れを碎くだ かず、

代よ は義農ぎのう の世よ となりて今生こんじょう には不祥ふしやう

の災難さいなん をはらい長生ちやうせい の術じゆつ を得え、人法にんぼう

ともに不老不死ふろうふし の理ことわり あらわれん時とき

をらん ご覧げん ぜよ。現世安穩げんぜあんのん の証文しやうもん 疑うたが いあ

るべからざるものなり

## 次、唱 題

南無妙法蓮華経と唱えます

## 次、回 向

皆さまと共にお唱えしたお経・お題目の功德が自分のみならず多くの人に施され皆が心静かに歩めることを願います

## 次、呪 陀 羅

正しく法華経をたもつ人を守る神さまたちの誓いの言葉

## 次、祈 願

家内安全や身体健全などの読み上げ

## 次、自我偈

お釈迦さまの久遠の救いを説いた法華経の中で一番大事なお経

## 次、回 向

〇〇家先祖代々などの読み上げ

## 次、四弘誓願 七二頁

戒めをもつて歩むことを誓う四つの言葉

## 次、導師挨拶

## 次、奉 送 七二頁

七面大明神に感謝を申し上げお見送り申し上げる法歌

## 終、退 堂

以上